

CIC 新試験制度対応講座 建築、電気 施工管理技士 申し込みを受付

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先がけ、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。通学講座の



他、いつでもどこでも学習できる映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」

だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の合格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。

新試験制度対応講座

CIC 申し込み開始

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先がけ、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込み

を受け付けている。これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。通学講座の他、いつでもどこでも学習できる映像通

信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書

配布無料サービスも実施する。

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の合格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。



通信講座の受講イメージ

秋田建設工業新聞第3面

＝日本建設情報センター＝

申し込みの受付を開始

新試験制度対応講座

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、来年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先がけ、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。通学講座の他、いつでもどこでも学習できる映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の合格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。



【通信講座の受講イメージ】

岩手建設工業新聞第2面

新試験制度に対応 「試験からの申し込みを開始」

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先駆け、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想している。「一次検定」の合格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。



通信講座の受講イメージ

岡山建通新聞第3面

CIC 新試験制度対応講座 受講申し込み開始

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先駆け、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の合格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。



通信講座の受講イメージ

東京建通新聞第3面

CIC 新試験制度対応講座の申込開始

日本建設情報センター（CIC、港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先駆け、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の合格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。



イメージ

建新新聞最終面

CIC 「新試験制度対応講座」の受付開始

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先駆け、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバック



通信講座の受講イメージ

アップ。通学講座の他、いつでもどこでも学習できる映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の合格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。